

蔵本外国語研究会「FLS」

多彩なテーマで 楽しく語学を学ぶ



蔵本FLS (Foreign Language Society)は、現在の登録部員数が93名という大所帯。

ブラクティス(Practice、略してプラ)と呼ぶ部活では、グループ・ディスカッションや洋画を見てのリスニング、寸劇など、部員自ら提案したものを積極的に取り入れています。主に英語が使われますが、それ以外の語学や様々な興味あるテーマごとに小グループを作って多彩に展開できます。また部員には海外経験者もおり、その体験談を聞くのも勉強になるでしょう。「特に講師がいるわけではありませんが、勉強の場として、みんなで工夫してみんなで楽しく学べま



蔵本外国語研究会(FLS) 代表
福田 亜希子 ふくた あきこ

す。また各部各学科から院生まで幅広く部員がいるために、語学を身につけるだけでなく、いろいろな事に挑戦できるし、「コミュニケーションの場としても活用してください」と言う部長の福田さん。部活は木曜日(午後5時30分〜7時)をメインに、火・金の昼休みには希望者が集って、英会話でランチ、英検を目指しての勉強会、水曜の夕方には栄養英語の会といったプラを行っています。

途中からも入部しやすいので、まずは部活の日に、体育館裏の部屋に気軽に見学に来てください(真夏や真冬には青藍講堂横のフレハブに避難して頂くこともあります)。

■蔵本FLSのHP <http://tokudaifls2.web.fc2.com>



ヘルスケア

新型インフルエンザウイルス

徳島大学保健管理センター
所長

前田 健一 まえだけんいち

●徳島大学での感染状況

現在流行期に入ったといわれる新型インフルエンザですが、徳島大学においても7月以降散発的な感染者の発生が持続しています。8月には阿波踊りに参加した学生連を中心に50名を超す集団感染が発生しました。その後集団的な発生は報告されていませんが、10月より後期が始まり多くの学生が集まるようになると、再度集団感染が起る可能性が高まってきます。感染者は学部学生がほとんどで、職員の感染はあまりありません。年代による感染感受性の差も推測されており、特に10代から20代の学生さんは要注意です。

●感染流行への対応

今回の新型インフルエンザは弱毒性と考えられ、現在では季節性インフルエンザと対応は変わらなくなりました。ただし、集団のほとんどが免疫を持っていないため、集団免疫が働かず、感染が急速に拡大する可能性があります。現段階では感染の拡大を防ぐことはほぼ不可能で、いかに感染拡大のスピードを緩やかにするかにかかっていると言えます。その意味で、感染拡大を防ぐ最大の方法は感染者を早期隔離することです。発熱や咳等のインフルエンザを疑わせる症状が発生した場合には、絶対に職場や、学校に出席してはいけません。解熱後48時間の出席停止を厳守してください。感染拡大は集団の免疫獲得割合が50%程度になるまでおさまらないと考えられ、いずれいつかは感染するものと覚悟しておいたほうが良いかもしれません。これから2ヶ月(10

月、11月)くらいが勝負だと思われるので、たとえ感染しても軽症で済むよう体調管理を怠らないようにしましょう。

●予防と治療

インフルエンザ予防の最大の方法は予防接種です。しかし、新型インフルエンザに関してはワクチンの準備が間に合わず、10月末になるとのことです。さらに、その本数も十分ではなく、接種対象者は医療従事者や糖尿病など重症化しやすい疾患を持った人たちに限定されるようです。今年も保健管理センターではインフルエンザワクチンの接種を予定していますが、対応は季節性のインフルエンザワクチンのみとなる見込みです。感染した場合はタミフルやリレンザなどの抗ウイルス薬を発症より48時間以内に投与することで、症状の軽減が期待されます。WHOでは健常者に抗ウイルス薬を投与す



Health Care



る必要はないとの指針を発表していますが、高い熱が出たような場合には早期に治療した方が安全ではないかと思えます。



保健管理センターの利用案内

- 開館時間 8:30 ~ 17:15 (月~金)
- 保健管理センター 共通教育5号館1階
- TEL 088-656-7289
- メール hokencenter@jim.tokushima-u.ac.jp
- 蔵本保健室 蔵本会館2階
- TEL 088-633-7591